



おひさまだより

ゆいの杜こども園 R6 冬号

大人たちの雪の心配をよそに、子どもたちは「わ〜っ!」「キレイ〜!」と、目をキラキラさせて、園庭に出ています。雪だけでなく、氷やつらら・・・、冬ならではの自然の贈り物を手に喜んでいます。園では、雪だるま作り・築山からのそり滑り・かまくら作り・雪にお絵描き・・・等、いろんな雪あそびが楽しめます。今回は、園での冬のあそびの様子をご紹介します。

◎重たい・軽い・ふわふわ・硬い・・・等と、雪の状態によって違う感触を感じながら、作りやすかったり上手く作れなかったり……。試行錯誤を繰り返しながら、新しい発見を楽しんでいます。やわらかい雪質の日は、小さい雪玉がだんだん大きくなっていくことが楽しくて、1人から2人、3人・・・と協力しながら、大きな雪だるまを作っていました。みんなの協力と工夫でできた、いろんな形の雪だるまを、お迎えのお母さんに嬉しそうに見せていました。



◎北風が吹く中、手作りの「凧」で遊ぶ、元気いっぱいの子どもたちです。画用紙やポリ袋で作り、高く揚がる凧でなくても、風を感じながら、糸の持ち方や走るスピードなどを工夫しながら遊んでいました。「手をもっと上げると高くなるよ」「もっと速く走るといいよ」などと、子どもたち同士の会話が聞こえてきます。季節によって違う、風の様子に気付いたり、園庭の寒さや空の色、日差しの暖かさなど、身近な自然を全身で感じながら遊んでいます。探求心や好奇心など、様々な育ちが見られます。



◎初めて見る雪に、興味津々の0才児さん！不思議そうに近づいて・・・、恐る恐る触ってみると・・・、冷たさにビックリ！溶けて水になる様子にまたビックリ！そのたびに、保育者の顔を覗き込みながら、初めての雪の感触を楽しんでいました。見つめて・触って・確かめて・・・と何度も繰り返していました。園では、いろんな「初めて」に出会う瞬間を、大切にしたいと考えています。子どもたちの心の動きを見守りながら、そっと寄り添うようにしています。



※子育てや園に関するご質問やご相談は、随時受け付けています。先ずはお気軽にお電話ください。

ゆいの杜こども園(0748-23-2222)